

沖縄県高齢者保健福祉計画

（ 沖 縄 県 老 人 福 祉 計 画
第9期沖縄県介護保険事業支援計画
沖 縄 県 認 知 症 施 策 推 進 計 画 ）

令和6年度～令和8年度

令和6年3月



2 施設・居住系サービスの必要入所（利用）定員総数等

- 必要入所（利用）定員総数とは、介護保険施設・居住系サービスの見込量を基に、年度ごと、高齢者保健福祉圏域ごとに必要な施設の定員を定めるものであり、その範囲内で施設の整備を推進します。
- 本計画における必要入所（利用）定員総数は、保険者である市町村が見込んだ介護保険施設・居住系サービスの見込量、施設の整備計画等を基に設定したものです。

【図表 3-13 施設・居住系サービスの計画期間中の整備量（沖縄県全体）】 （単位：定員数）

区 分		令和5年度末 （実績見込 A）	令和8年度末 （目標 B）	計画期間中の 整備量（B－A）
施設 サービス	介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	4,599	4,963	364
	地域密着型介護老人福祉施設 （地域密着型特別養護老人ホーム）	509	593	84
	介護老人保健施設	3,925	3,965	40
	介護医療院	354	652	298
居住系 サービス	認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	1,185	1,401	216
	介護専用型特定施設	559	903	344
	地域密着型特定施設	338	454	116
	混合型特定施設	857	878	21
施設・居住系サービス合計		12,326	13,809	1,483

※混合型特定施設の定員は推定利用定員

（１）介護保険施設の必要入所（利用）定員総数（整備目標：圏域別）

- 介護保険施設の必要入所（利用）定員総数のうち、県または中核市（那覇市）が指定する広域型施設の定員数については、各保険者が見込んだ利用者数を基に、各圏域のサービス基盤の整備状況等を総合的に勘案して設定しています。また、各市町村が指定する地域密着型施設の定員数については、各保険者が見込む利用者数を基に設定しています。
- 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の施設整備にあたっては、施設入所の必要性の高い入所待機者の解消を図るための施設整備を計画的に行い、また、老朽化した施設の改築にあたっては毎年２施設程度の改築を支援します。

【図表 3-14 施設サービスの計画期間中の整備量（圏域）】

（単位：定員数）

区分	圏域	第8期	第9期計画				令和8年度末 整備累計
		令和5年度 （見込）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	計画期間内 整備見込	
介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	北部	530	19	0	0	19	549
	中部	1,665	9	0	100	109	1,774
	南部	1,964	10	16	100	126	2,090
	宮古	210	10	0	0	10	220
	八重山	230	0	0	100	100	330
	小計	4,599	48	16	300	364	4,963
地域密着型 介護老人福祉施設 （地域密着型特別養護 老人ホーム）	北部	58	0	0	0	0	58
	中部	116	0	17	0	17	133
	南部	335	25	42	0	67	402
	宮古	0	0	0	0	0	0
	八重山	0	0	0	0	0	0
	小計	509	25	59	0	84	593
介護老人 保健施設	北部	350	0	0	0	0	350
	中部	1,140	0	0	0	0	1,140
	南部	2,095	0	0	40	40	2,135
	宮古	180	0	0	0	0	180
	八重山	160	0	0	0	0	160
	小計	3,925	0	0	40	40	3,965
介護医療院	北部	60	0	0	0	0	60
	中部	98	0	0	100	100	198
	南部	196	0	0	100	100	296
	宮古	0	0	0	50	50	50
	八重山	0	48	0	0	48	48
	小計	354	48	0	250	298	652
施設サービス合計		9,387	121	75	590	786	10,173

（２）居住系サービスの必要入所（利用）定員総数（整備目標：圏域別）

- 居住系サービスの必要入所（利用）定員総数のうち、県または中核市（那覇市）が指定する広域型施設の定員数については、各保険者が見込んだ利用者数を基に圏域毎に積み上げて設定しています。また、各市町村が指定する地域密着型施設の定員数については、各保険者が見込む利用者数を基に設定しています。
- 認知症対策を積極的に推進するため、地域のニーズに基づいて認知症対応型共同生活介護施設（グループホーム）の整備を推進します。